
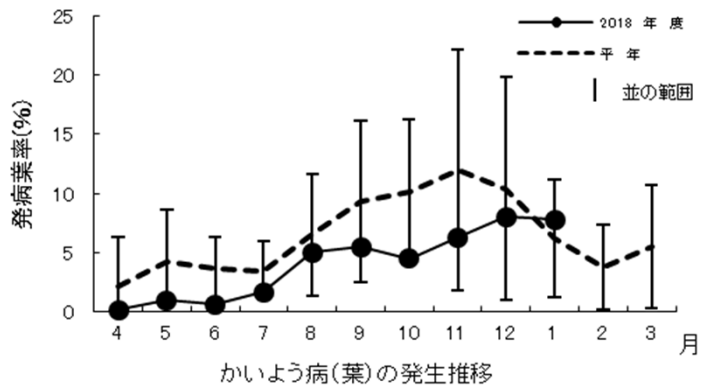


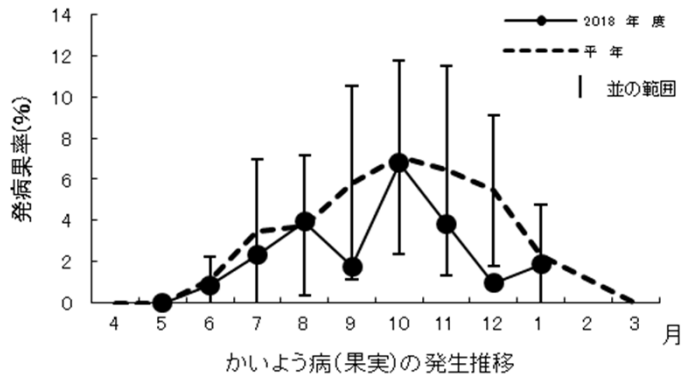
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
1月の発生量 (現況)	並		
2月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、1月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

(葉)



(参考・果実)




防除のポイント

- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・罹病葉・枝は次期作の伝染源になるので除去する。

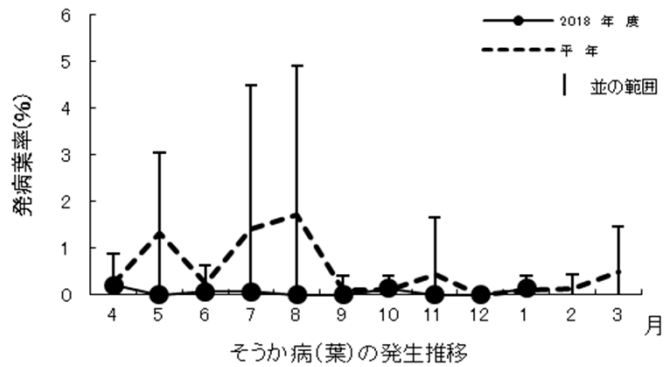


被害葉

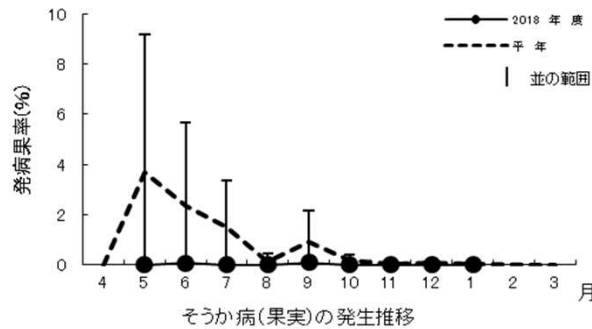
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
1月の発生量 (現況)	並		
2月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、1月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

(葉)




(参考・果実)

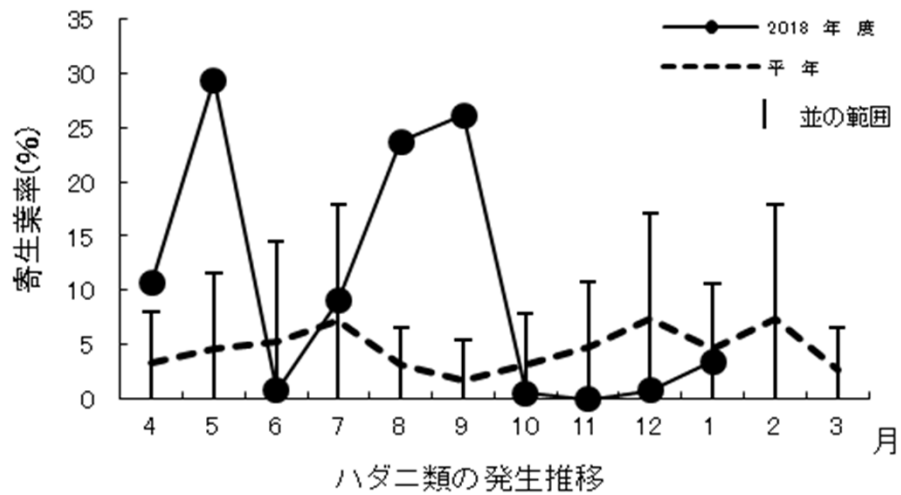


防除のポイント

- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
1月の発生量 (現況)	並		
2月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、1月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状